

【校訓】
優しく 正しく 逞しく

八代市立第四中学校だより
令和8年6月 その2
(文責) 校長 前田 博治

【学校教育目標】
「夢と志をもち、自ら判断し行動できる、逞しい生徒の育成」
～互いに認め支え合い、安心して笑顔で過ごせる学校をめざして～

「熱い夏の幕開け！頑張れ四中生！！」 ～八代中体連大会始まる～



いよいよ八代中学校総合体育大会(八代中体連)が始まりました。この日のために各部では日々の練習に真剣に取り組み、技術だけでなく、仲間と支え合う心や最後までやり抜く強い意志を育んできました。順調な時ばかりではなく、思うような結果が出ずに悩んだり、心が折れそうになったりしたこともあったことでしょう。しかし、その一つ一つの経験が皆さんを大きく成長させてくれたと思っています。

大会では、勝敗がつく以上、喜びや悔しさが生まれます。しかし、本当に大切なのは結果だけではなく、これまで積み重ねてきた努力を信じ、自分らしく全力を尽くすことです。そして、仲間や顧問の先生、コーチ、家族への方々への感謝の気持ちを忘れず、**四中生として誇りある姿**を見せてほしいと思います。

さて、12日(金)におこなわれた中体連選手激励会では、「**あきらめたらそこで試合終了ですよ**」という漫画『スラムダンク』の安西先生の言葉(出典 井上雄彦『SLAM DUNK』より)を紹介しました。試合の中では苦しい場面もあるかもしれませんが、最後の最後まであきらめずに挑戦する姿勢がこれまでの練習の成果を発揮する原動力になり、その姿に人の心は動かされます。

私は欲張りなので、学校玄関をたくさんの優勝旗と賞状で埋め尽くしたと思っていますが、「勝敗」「記録」よりも、「**記憶に残る選手、チーム、学校**」であってほしいと強く願っています。勝敗や記録はもちろん大切です。しかし、それ以上に、**あいさつ、返事、礼儀、仲間への声かけ、審判や相手選手への敬意**など、その姿は多くの人々の心に残ります。その姿がこれまでお世話になってきた方々への感謝につながるのだと思います。

試合会場で、「四中の生徒は素晴らしい」「礼儀正しい」と言われるような姿を見せてください。**プレーだけでなく、その立ち居振る舞いの中に、あきらめない気持ち、感謝の思い、四中プライドを見せてくれることを期待しています。**

選手の皆さんの健闘を心から祈るとともに、応援してくださる保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。**チーム四中の力を結集し、最高の大会にしてくれることを願っています。頑張れ、四中生!**